

【国語】

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい国語
15	三 省 堂	現代の国語
17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い
		② 情報の扱い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等
		③ 我が国の言語文化に関する事項	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 自分の考えを形成する活動の工夫	話し合いに関する単元の内容の扱い
		⑤ 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連	文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動
		⑦ 見通しを立てて学習するための構成上の工夫	単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等
		⑧ 学習を振り返るための工夫	学習の振り返りの示し方及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑨ 単元の構成	単元内の教材等の配列及び具体例
		⑩ 単元・教材等の配列	配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数
(オ)	内容の表現・表記	⑪ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方、内容及びページ数
		⑫ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの数と扱い

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い

		第1学年										
		新出漢字の数及び脚注等への示し方等	重要語句の脚注への示し方及び数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)				
東書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 365字 ○ 脚注に行数、音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については、教材末にページ数、行数、音訓を示している。 ○ 教材末に「新出漢字一覧」の掲載ページを示している。 ○ 巻末に「新出漢字一覧」として、ページ数、部首、画数、筆順、各音訓についての用例が示してある。 ○ 新出音訓については、フォントサイズを新出漢字より小さくして、脚注に表示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 ・音声の働きや仕組み (1) ・接続する語句・指示する語句 (3) ・語の意味と文脈 (2) ・方言と共通語 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 ・活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・音読み・訓読み (2) ・国語の学習に関わる漢字 (1) ・漢字の部首 (2) ・形の似た漢字 (1) ・他教科で学ぶ漢字 (1) ・漢字の成り立ち (2) ・小学校六年の漢字〈日常〉 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 ・文法とは・言葉の単位 (1) ・文の成分・連文節 (1) ・単語の分類 (1) 						
							記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料編 ・新出漢字一覧 (12) ・新出音訓一覧 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法解説 ・文法とは・言葉の単位 (3) ・文の成分・連文節 (5) ・単語の分類 (4) 	
							意	意味を調べよう	75			
							文	短文を作ろう	33			
							類	似た意味の語句(類義語)を挙げよう	46			
対	反対の意味の語句(対義語)を挙げよう	8										
三省堂		<ul style="list-style-type: none"> ○ 420字 ○ 脚注に行数、本文中の読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」「新出音訓」のページ数、音訓を示している。 ○ 教材末に漢字の学習ができる二次元コードを掲載している。 ○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」として、ページ数、音訓、中学校で学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 ・音声のしくみとはたらき (2) ・接続する語句・指示する語句 (2) ・方言と共通語 (2) ・比喩・倒置・反復・対句・体言止め (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ ・活字と手書き文字・画数・筆順 (2) ・成り立ちと部首 (3) ・漢字の音と訓 (2) ・コラム 漢字文化をアレンジする日本の力 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 ・言葉の単位・文節の関係 (1) ・単語の類別・品詞 (1) 						
							記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考資料 ・学習用語辞典 (6) ・語彙の広がり (4) ・五十音図とローマ字 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を身につけよう (9) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法のまとめ ・言葉の単位 (13)
							意	辞書で意味を調べる	135			
							類	類義語	50			
対	対義語	15										

【国語】

		第1学年					
新出漢字の数及び脚注等への示し方等		重要語句の脚注への示し方及び数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 396 字 ○ 新出漢字には、本文中にルビが振ってある。 ○ 新出漢字が出てくる行の下の脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」として、ページ数、音訓、用例を示しているものがある。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」と並列して、「新出音訓」や「付表」の語を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (1) ・日本語の文字 (1) ・方言と共通語 (1) ○ 言葉と文法 解題編 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (4) ・日本語の文字 (4) ・方言と共通語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・理解に役立つ言葉 (2) ・表現に役立つ言葉 (2) ・学習に必要な用語 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首 (2) ・画数と活字の字体 (2) ・漢字の音と訓 (2) ・熟語の構成 (2) ○ 漢字の練習 (7) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (10) ・小学校六年生で学習した漢字 (4) ・常用漢字表 (12) ・「付表」の語 (1) ・一年生で読みを学習した漢字・語 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文の成分 (1) ・単語のいろいろ (1) ○ 言葉と文法 解題編 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (3) ・文の成分 (5) ・単語のいろいろ (5)
		記号	記号の意味	数			
		意	調べたり考えたりして意味を理解する。	50			
		文	短文を作って表現に生かす。	30			
		同	同じ音をもつ語句を調べる。	2			
		対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3			
		類	似た意味をもつ語句を調べる。	17			
考	考えるときの観点として生かす。	5					
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 392 字 ○ 脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「漢字の練習」ができる二次元コードが示されている。 ○ 教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示しているものがある。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。 	○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・音声の仕組みや働き (1) ・指示する語句と接続する語句 (3) ・さまざまな表現技法 (3) ・語彙を豊かに (2) ・方言と共通語 (3) ・語彙ブック (8) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語を使う (1) ・学習のための用語一覧 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首 (2) ・漢字の音訓 (2) ・漢字の成り立ち (2) ○ 漢字に親しもう (5) ○ 漢字の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校六年生で学習した漢字 (3) ・小学校六年生で学習した漢字一覧 (2) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (13) ・一年生で学習した音訓 (1) ・常用漢字表 (14) ・常用漢字表 付表 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう (1) ・言葉の関係を考えよう (1) ・単語の性質を見つめよう (1) ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (4) ・文の組み立て (5) ・単語の分類 (4) ・参考 (2) <p>口語動詞活用表 口語形容詞活用表 口語助動詞活用表</p>
		記号	記号の意味	数			
		意	意味を調べる。	49			
		文	短文を作る。	28			
		類	類義語を調べる。	4			
		対	対義語を調べる。	3			
		関	関連語句を確認する。	9			

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②情報の扱い方に関する事項
方法	情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等

	情報の扱い方に関する事項の示し方	教材名等		
東 書	<p>○ 各学年とも、本編に情報活用に係る単元を設定し、「情報と論理の学び」の前後に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」、「読むこと」と「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、資料編に情報活用に係る教材「思考のヒント」を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「オオカミを見る目」 ・ 情報と論理の学び 情報の分類・比較 ○ 「「食文化」のレポート」 比較して分かったことを伝えよう ○ 「私のタンポポ研究」 ・ 情報と論理の学び 意見と根拠 ○ 「「写真」の意見文」 根拠を明確にして書こう ○ 「ニュースの見方を考えよう」 ・ 情報と論理の学び 原因と結果 ○ 「「似ている言葉」スピーチ」 中心を明確にして話そう
		第2学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ネコだって推理できる」 ・ 情報と論理の学び 情報の関係の表し方 ○ 「「地域の魅力」の紹介文」 効果的に伝えよう ○ 「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」 ・ 情報と論理の学び 意見と根拠の吟味 ○ 「「地図」の意見文」 根拠を吟味して書こう ○ 「「正しい」言葉は信じられるか」 ・ 情報と論理の学び 具体と抽象 ○ 「プレゼンテーション」 説得力のある提案をしよう
		第3学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絶滅の意味」 ・ 情報と論理の学び 情報の信頼性の確かめ方 ○ 「「環境」の新聞」 編集して伝えよう ○ 「受け取る「利他」「利己」と「利他」」 ・ 情報と論理の学び 具体例、根拠、反対の関係 ○ 「「広告」の批評文」 観察・分析して論じよう
三省堂	<p>○ 各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定し、教材の掲載前に、情報の扱い方について説明している。資料を1つは掲載している。また、同単元内に「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、資料編に「社会生活に生かす」として、情報活用に係る教材「著作権と引用」「メモを活用する」を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 二つのデータ、どう関係づける？ ・ 資料A 「防災に関するデータ」 ・ 資料B 「「みんなでいるから大丈夫」の怖さ」 ○ 行事案内リーフレット 「必要な情報をわかりやすく伝える」
		第2学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 「水問題」って何？何が原因？ ・ 資料A 「100年後の水を守る」 ・ 資料B 「飲み水は不足しているか」 ・ 資料C 水問題に関する資料 ○ 投稿文 「複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す」
		第3学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 そのロコミ信頼できる？ ・ 資料A 「見たいものだけ見る私たち」 ○ 「情報の信頼性を確かめる」

【国語】

情報の扱い方に関する事項の示し方		教材名等		
教出	<p>○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元、第1学年「情報を得る」、第2学年「情報を捉える」、第3学年「情報を共有する」を設定し、第1・3学年は教材を4つ、第2学年は教材を3つ掲載している。</p> <p>○ 各学年の単元内において、教材内容を活かして「書くこと」の活動の教材を1つは掲載している。また、「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<p>四 情報を得る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「エシカル」に生きよう ○ 「森には魔法つかいがある」 ○ 「根拠を明確にして意見文を書く」 ○ 「広告の情報を考える」
		第2学年	教材・活動	<p>四 情報を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「どう思いますか」—新聞投書から言葉を考える ・「ここにいる」を言う意味 ・「一〇〇年後のみなさんへ」 ○ 「紙の建築」 ○ 「構成を明確にして説明文を書く」
		第3学年	教材・活動	<p>七 情報を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「生命とは何か」 ・「地球は死にかかっている」 ○ 「「対話力」とは何か」 ○ 「自分の意見を述べる時」—言葉の力と裁判— ○ 「意見を共有しながら話し合う」 ○ 「中学校生活をまとめて作品集を作る」
光村	<p>○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 第2・3学年の資料編において、情報の整理に関する資料を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報整理のレッスン 「比較・分類」 ○ 「情報を整理して説明しよう」 発見したことをわかりやすく書く ○ 「情報収集の達人になろう」—私のSDGs「行動宣言」—コラム 「著作権について知ろう」 ○ 思考のレッスン1 「意見と根拠」 ○ 「根拠を明確にして書こう」 資料を引用して報告する ○ 思考のレッスン2 「原因と結果」
		第2学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報整理のレッスン 「思考の視覚化」 ○ 「情報を整理して伝えよう」 職業ガイドを作る ○ 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」—災害時における情報収集 ○ 「デジタル市民として生きる」 ○ 思考のレッスン1 「根拠の吟味」 ○ 「適切な根拠を選んで書こう」 意見文を書く ○ 思考のレッスン2 「具体と抽象」
		第3学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考のレッスン 「具体化・抽象化」 ○ 「情報の展開を意識して書こう」 グラフを基に小論文を書く ○ 「実用的な文章を読もう」 ○ 「報道文を比較して読もう」 ○ 情報整理のレッスン 「情報の信頼性」

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得	
	視点	③我が国の言語文化に関する事項
	方法	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数

	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数						
東 書	<p>【第1学年】</p> <p>6 伝統文化に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「移り行く浦島太郎の物語」 ○ 「伊曾保物語」 ・ 古典コラム 古典の仮名遣い ○ 「竹取物語」 ・ 古典コラム 古典の言葉とその意味 ・ 資料 受け継がれる「竹取物語」 ○ 「矛盾 「韓非子」より」 ・ 資料 ほかの故事成語について知ろう ・ 古典コラム 漢文の読み方 <p>【第2学年】</p> <p>6 伝統文化を味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子・徒然草」 ・ 古典コラム 係り結び ・ 資料 ほかの章段も読んでみよう ○ 「平家物語」 ・ 古典コラム 表現の特徴 ・ 資料 「平家物語」と古典芸能 ○ 「漢詩」 ・ 古典コラム 漢詩の形式 ・ 資料 漢詩を楽しむ <p>【第3学年】</p> <p>6 伝統文化を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「万葉・古今・新古今」 ・ 古典コラム 和歌の修辞 ・ 資料 小倉百人一首 ○ 「おくのほそ道」 ・ 古典コラム 俳諧の歴史 ・ 芭蕉の「聖地巡礼」 ○ 「論語」 ・ 古典コラム 漢文の読み方 ・ 資料 世界各地の孔子廟 ・ 古典コラム 古典の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に読書単元を2つ設定し、作品を掲載している。また、同単元内に読書案内「世界を広げる本」と言語活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、教材末や単元末、資料編に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「中学生におすすめの本」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で312冊 	第1学年	教材	読書への招待 ・ 平和のバトン ・ たまごを持つように ・ 羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡 ・ はてしない物語 ・ チョウはなぜ飛ぶか			
				活動	読書と情報 図書館の活用 読書活動 本のポップ			
			第2学年	教材	読書への招待 ・ 鯉節ー世界に誇る伝統食 ・ 時をかける少女 ・ この世界の片隅に			
				活動	読書と情報 インターネット・新聞の活用 読書活動 ビブリオバトル			
			第3学年	教材	読書への招待 ・ 何のために「働く」のか ・ 夜を乗り越える ・ 何のために「学ぶ」のか ・ 本の読み方 ・ 本を読めなくなった日のための読書論 ・ 読書の価値 ・ 小説以外			
				活動	読書活動 読書会の方法 読書活動 私のベストブック			
			三 省 堂	<p>【第1学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 月を思う心 ○ 「竹取物語」 ・ 語彙を豊かに 古語と現代語で異なる意味の語 ・ 古文の読み方ー古典の仮名遣い ・ 「このあたり」ってどのあたり？ ○ 「故事成語ー矛盾」 ・ 漢文の読み方ー訓読の仕方 <p>【第2学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子・徒然草」 ○ 「平家物語」 ・ 語彙を豊かに さまざまな泣き方の表現 ・ 読み方を学ぼうー物語の転換点 ・ コラム あの人の歌 ○ 「漢詩の世界」 ・ 漢文の読み方ー漢詩の形式 <p>【第3学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「和歌の世界ー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 ・ 和歌の技法 ・ コラム 和歌がつながる思い ○ 「おくのほそ道」 ・ 語彙を豊かに 「百」を含んだ語句 ・ 読み方を学ぼう⑤ー状況・背景 ○ 「論語」 ・ 漢文の読み方ー訓読の仕方の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編「読書の広場」の「小さな図書館」内で書籍紹介を掲載するとともに、日本十進法及び本の構造について掲載している。なお、各学年とも、「読書の広場」に第1学年5作品、第2・3学年4作品の読書教材を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で280冊 	第1学年	教材	私の読書体験 本を読むことのおもしろさ
							活動	読書活動 私が選ぶこの一文
						第2学年	教材	私の読書体験 生涯の友と出会う
活動	読書活動 ビブリオバトル							
第3学年	教材	私の読書体験 言葉は傘						
	活動	読書活動 ブックトーク						

【国語】

教 出	<p>【第1学年】</p> <p>五 古典にふれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「昔話と古典一箱に入った桃太郎ー」 ○ 「物語の始まりー竹取物語ー」 ・ 古典の仮名遣い、いろは歌 ○ 「故事成語ー中国の名言ー」 ・ 漢文の読み方 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 <p>【第2学年】</p> <p>五 古典を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「敦盛の最期ー平家物語ー」 ・ 歴史的仮名遣い、係り結び ○ 「随筆の味わいー枕草子・徒然草ー」 ○ 「二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー」 ・ 漢文の読み方、置き字 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 <p>【第3学年】</p> <p>五 古典を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「旅への思いー芭蕉と『おくのほそ道』ー」 ○ 「和歌の調べー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集ー」 ・ 歴史的仮名遣い、和歌の修辞、和歌の句切れとリズム ○ 「風景と心情ー漢詩を味わうー」 ・ 漢詩の表現の特徴、日本人が作った漢詩 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作品解説及び作者の紹介を掲載している。 ○ 資料編の「言葉の自習室」として、読書に関わる教材を、第1・2学年2作品、第3学年3作品を掲載している。 ○ 各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で258冊 		
		第1学年	教材	読書への招待① ベンチ 読書への招待② 蜘蛛の糸
		第1学年	活動	みちしるべ ・本の帯やポップを作り、本を薦めよう
		第2学年	教材	読書への招待① 夢を跳ぶ 読書への招待② 坊っちゃん
		第2学年	活動	みちしるべ ・関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう ・疑問をメモにまとめよう ・図書館を活用しよう
		第3学年	教材	読書への招待① 薔薇のボタン 読書への招待② 最後の一句
		第3学年	活動	みちしるべ ・ビブリオバトルで本の世界を広げよう ・読書の記録を取ろう
		光 村	<p>【第1学年】</p> <p>6 いにしへの心にふれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界 ・ 音読を楽しむ「いろは歌」 ○ 「蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から」 ・ 古典の言葉 ○ 「今に生きる言葉」 ・ 故事成語を使って体験文を書こう ・ 漢文を読む ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 <p>【第2学年】</p> <p>6 いにしへの心を訪ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読を楽しむ「平家物語」 ・ 「平家物語」の世界 ・ 「平家物語」の主な登場人物たち ○ 「扇の的ー「平家物語」から」 ○ 「仁和寺にある法師ー「徒然草」から」 ・ 人物の特徴を捉えて論じよう ○ 「漢詩の風景」 ・ 律詩について ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 <p>【第3学年】</p> <p>1 深まる学びへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びて時に之を習ふー「論語」から」 ・ 漢文の訓読 <p>6 いにしへの心を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌の世界 ・ 音読を楽しむ「古今和歌集 仮名序」 ○ 「君待つとー万葉・古今・新古今」 ・ 和歌の表現方法 ○ 「夏草ー「おくのほそ道」から」 ・ 俳句と俳諧 ・ つながる古典 ・ 古典名作選 ・ 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「いつも本はそばに」の読書単元を2つ設定している。1つ目の単元においては、「読書活動」「読書」「読書案内」「コラム」で構成されている。2つ目の単元においては、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも掲載作品について「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○ 資料編において、各学年とも2作品の読書教材を掲載している。また、第1学年は「読書感想文の書き方」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で340冊
				第1学年
第1学年	活動			読書を楽しむ ・ポップを作ろう ・読書会を開こう ・読書記録を続けていこう
第2学年	教材			翻訳作品を読み比べよう ・星の王子さま コラム「わからない」は人生の宝物 「自分らしさ」を認め合う社会へ ・父と話せば ・六千回のトライの先に
第2学年	活動			読書を楽しむ ・ブックトークをしよう ・読書ポスターを作ろう ・読みたい本のリストを作ろう
第3学年	教材			「私の一冊」を探しにいこう ・羊と鋼の森 コラム ためになるってどんなこと？ 本は世界への扉 ・天、共に在り ・極夜行
第3学年	活動			読書を楽しむ ・「私の一冊」を紹介しよう ・ブックレビューを書こう ・三年間の読書を振り返り、これからの読書について考えよう

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④自分の考えを形成する活動の工夫
方法	話し合いに関する単元の内容の扱い

第3学年 「話し合うこと」における合意形成に関する単元				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いを馳せる ・合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活の中から話題を決め、多様な立場や意見を想定し、伝え合う内容を検討する。 ○ 進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①話し合いのテーマを決める ②提案したいことを出し合う ③提案を整理する ④話し合って意見をまとめる ○ 振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の力 多様な意見の想定、合意形成 ・テーマの例 ・提案を出し合った例 ・提案を整理した例 ・話し合いの例
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かに想像する ・グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。 ○ 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①「話し合いのこつ」を見つける ②グループでの話し合いをする ③話し合いでの発言を振り返る ○ 学びを振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合いのこつ」と発言例 ・テーマ例 ・発言メモ例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を共有する ・意見を共有しながら話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出された意見の関係をおさえて話し合う。 ○ 話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重しながら話し合い、結論を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ ①合意形成が必要なテーマについて、自分の意見とその根拠を考える。 ②①必要に応じて司会や記録などの役割を決める。 ②テーマの確認と話し合いの進め方を確認し合う。 ③①手順にそって話し合いをする。 ②話し合いの進行や内容を振り返る。 ③合意形成のための話し合いにおける大切な点をクラス全体で共有する。 ○ 振り返り ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの会話例 ・意見を共有して話し合う方法 ・合意形成のための話し合いのポイント
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 価値を生み出す ・合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の発言の共通点を見いだすなど、具体的な事例を抽象化して整理する。 ○ 多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> (学習の流れ) ①議題を決める ②グループで提案を考える ③全体会議を開く ④合意形成のポイントを振り返る ○ 振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの会話例 ・各グループの提案を座標軸で整理した例 ・言の葉ポケット「提案を検討するとき」「互いの意見を生かして、合意形成を目指すとき」

【国語】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤内容を解釈するための本文記述と図表等の関連
方法	文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数

		第2学年 説明的な文章			
		教材名	教材の ページ数	目標	図表等の 種類(数)
東 書		ネコだって推理できる	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章全体と部分との関係に注意しながら、内容を読み取る。 ○ 文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。 	図(3) グラフ(3) 写真(2)
		黄金の扇風機	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考える。 ○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める。 	写真(2)
		「正しい」言葉は信じられるか	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を比較して、文章の構成や表現の効果について考える。 ○ 構成や表現を工夫して、記事を書き換える。 	図(1) 写真(1) 絵(2)
三省堂		人間は他の星に住むことができるのか	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。 ○ 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 	図(2) 写真(2)
		壁に残された伝言	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 ○ 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 	図(2) 写真(3)
		味は味覚だけでは決まらない	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ○ 文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。 	図(2) グラフ(3)
教 出		日本の花火の楽しみ	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 	図(1) 写真(4)
		水の山 富士山	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 	図(3) 絵(1) 写真(4)
		紙の建築	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 事例の役割や効果を確かめ、得られた情報を整理しながら読む。 	図(1) 写真(8)
光 村		クマゼミ増加の原因を探る	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報と情報との関係を図示するなどして整理する。 ○ 文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。 	図(3) 写真(2) グラフ(6)
		モアイは語る—地球の未来	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見を裏づけるための、適切な根拠の在り方について理解する。 ○ 知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する。 	図(3) 写真(4)
		君は「最後の晩餐」を知っているか	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表などを用いて、情報を整理する。 ○ 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 	絵(6) 写真(2) 図(2)

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
東書	第1学年	○ 分かりやすく伝える ・「食文化」のレポート 比較して分かったことを伝えよう	○ 日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理する。 ○ 内容の中心が明確になるように、分かりやすい文章の構成でレポートを書く。	○ 「食文化」について比較する個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、「調査結果」と「考察」を区別し、構成を考えてレポートをまとめ、読み合って感想を交換する活動を取り上げている。
	第2学年	○ 伝え方を工夫する ・「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう	○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	○ 身近な地域に住む人に向けて紹介したい「地域の魅力」を決め、情報を集めて、図や表を使って整理し、伝えたいことや書きたいことを意識して、文章の構成を考えて下書きをし、推敲して仕上げた紹介文を読み合う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 効果的に伝える ・「環境」の新聞 編集して伝えよう	○ 社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ○ 目的や意図に応じて文章の種類を選択し、構成や表現を工夫する。	○ 環境に関わって、グループで取り上げるテーマを決め、題材について書くための材料を集めて吟味し、文章の種類を決めて下書き・推敲をして清書した新聞を読み合って感想を交換する活動を取り上げている。
三省堂	第1学年	○ わかりやすく伝える ・「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」	○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。	○ 身の回りのものやできごとの中から興味や関心のあることを選び、情報を集めて整理・分類し、レポートの形式で書き、読み合う活動を取り上げている。
	第2学年	○ 振り返って見つめる ・情報誌「地域の魅力」を振り返って ※「話す・聞く」との複合単元	○ 集めた情報を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。 ○ 地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。	○ 地域のよさや魅力に迫るために、編集会議を開いてテーマを決め情報収集を行い、レイアウトを決めた後、記事を書き、印刷・製本した雑誌を用いて発表会を行う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 古典に学ぶ ・漢字一字「自分自身や社会を見つめる」	○ 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ○ 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。	○ 自分自身や社会生活を振り返って最近のできごとや今年一年を漢字一字で表現し、その漢字に決めた理由やその漢字にまつわるエピソードを文章にまとめ、グループで読み合って感想を交流する活動を取り上げている。

【国語】

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
教 出	第1学年	○ 考えを確かめる ・「報告文を整える」	○ 接続する語句の役割を理解し、使う。 ○ 読み手の立場に立って、標記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。	○ 身近な問題から、調べて報告したいテーマを決め、集めた調査結果を読み取り、書く順序を考えた後、図表を用いて調査結果をまとめ、書いた文章を推敲し、読み合う活動を取り上げている。
	第2学年	○ 学びを広げる ・「新聞の投書を書く」	○ さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。 ○ 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。	○ 社会生活に目を向けて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書き、推敲した文章を読み合い、感想を交流する活動を取り上げている。
	第3学年	○ 論理を築く ・「客観性や信頼性のある記事を書く」	○ 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。 ○ 目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にする。	○ 社会問題の中から興味のあるテーマを選んで情報を集め、情報の信頼性を確認した後、伝えたいことを明確にして記事を書いて推敲し、新聞の形にまとめて共有する活動を取り上げている。
光 村	第1学年	○ 新しい視点で ・「情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く」	○ 集めた情報を比較したり分類したり、関係づけたりして整理する。 ○ 情報を取捨選択し、わかりやすく説明するためにまとめ方や順序を工夫する。	○ 取り上げる題材(道具)を選び、観察したり使ったりして気付いたことを分かりやすく説明する文章を書いた後、読み合って書き方についての感想を交流する活動を取り上げている。
	第2学年	○ 多様な視点から ・「情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る」	○ 図や記号を使って、情報を整理する。 ○ 目的に応じて多様な方法で材料を集め、整理して、伝えたいことを明確にする。	○ 調べる職業を決め、知りたいことに適した調べ方を考えて多様な方法で情報を集め、整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書いた後、読み合って感想を伝え合う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 自らの考えを ・「考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く」	○ 具体と抽象の関係について理解を深める。 ○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。	○ 地域社会で見聞きしたことや、新聞、テレビなどのメディアを通して知ったことの中から関心のある事柄を決め、観点を決めて問いを立てて考えを深め、自分の考えを書いた後、読み合って論議の展開などについて助言し合う活動を取り上げている。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦見通しを立てて学習するための構成上の工夫
方法	単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多面的に検討する ・「広告」の批評文 観察・分析して論じよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた材料の客観性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ○ 論理の展開や表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりして、説得力のある文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①批評の対象について知る ②対象を観察・分析する ③対象を比較して判断する ④批評文を書く ⑤読み合って評価する ○ 振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・批評の対象例（広報記事、広告） ・観察・分析のメモの例 ・批評文例（批評文の完成例） ・問題（広報記事、広告）
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものの見方・感性を養う ・批評文「観察・分析を通して評価する」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①題材を決める ②対象を観察・分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考の方法例（俳句） ・批評文の例（俳句）
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係を問う ・説得力のある批評文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げる資料と自分の知識や経験との関係について整理する。 ○ 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ ①批評する観点を決めて対象を観察する。／気づいた特徴を分析する。 ②判断や評価が伝わりやすい構成を考える。 ③効果的な書き出し方やまとめ方を考え、批評文を書く。 ④書いた批評文に説得力があるか考えながら推敲する。 ⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係を整理する方法（ポスター比較表） ・観点を決めて批評する（ポスターと解説） ・批評文例（スマートフォン）
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの考えを ・効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体と抽象の関係について理解を深める。 ○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> (学習の流れ) ①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④批評文を書く ⑤友達と文章を読み合う ○ 振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の例（広告） ・分析例（観点の問いとそれに対する自分の考え） ・批評文の例（広告）

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑧学習を振り返るための工夫
方法	学習の振り返りの示し方及び具体例

	学習の振り返りの示し方	具体例（第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の「見通す」に目標、生徒目線で書かれた「問いかけ」が示され、教材末の「振り返る」で生徒自身が確認できるようになっている。 ○ 振り返りには、目標に対して学んだことを振り返るように促している。 	<p>単元名 伝え方を考える 教材名 「似ている言葉」スピーチ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 ・聞き手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいスピーチをするためには、構成や話し方をどのように工夫したらいいんだろう。 <p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの構成や、聞き手の反応を踏まえた話し方について学んだことを振り返り、これからの生活に生かそう。
三省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭で目標を示し、教材末の「学びを振り返る」で、学んだことを自分の言葉でまとめるようになっている。また、振り返りのキーワードがある。 ○ 目標で示した項目を「思考の方法」を用いて学習し、それについて自分の言葉で振り返るようになっている。 	<p>単元名 論理的に考える 教材名 スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 <p>思考の方法 ・順序立てる 学びを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫して魅力を伝えるためには、どんなことが大切か、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。 ・「振り返りのキーワード」最も伝えたいこと・事実・理由づけ
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標に即した振り返りが掲載され、生徒自身で確認できるようになっている。 ○ 「振り返り」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返りと、「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○ 目標で示した項目を「学びナビ」を用いて学習し、「振り返り」で確認できるようになっている。 	<p>単元名 論理を知る 教材名 「構成を考えて話す」 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ・相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。 <p>学びナビ ・構成を考える方法 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の構成、表現の仕方などに気をつけて説明をしているか。 ・相手や場の状況に応じて表現を工夫しながら話しているか。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標に即した振り返りと、学びを生かす振り返りが掲載されている。 ○ 振り返りは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○ 目標で示した項目を「学びのカギ」を用いて学習し、「振り返る」で確認するようになっている。 	<p>単元名 学びをひらく 教材名 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチする 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや速さ、間の取り方などを意識して話す。（知る） ・自分の伝えたいことが、わかりやすく伝わるように、話の構成や表現を工夫する。（話・聞） <p>学びのカギ ・わかりやすい話の構成を考える 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知る」声の大きさや間の取り方などを、どのように工夫したか。 ・「話す・聞く」自分の伝えたいことが、聞き手にはっきりとわかりやすく伝わるように、スピーチの構成や表現で工夫した点は何か。 ・「つなぐ」今回学んだことの中で、次にスピーチをするときに生かしたいことを挙げてみよう。

【国語】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨単元の構成
方法	単元内の教材等の配列及び具体例

	単元内の教材等の配列	具体例（第2学年「走れメロス」）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」教材と、「書くこと」教材、または「話すこと・聞くこと」教材がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文と知識及び技能教材で構成されている。 	<p>8 描写を味わう 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読む〈文学3〉「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・てびき ○ 書く〈感性・想像〉「短歌から始まる物語 いきいきと描き出そう」 ○ 話す・聞く〈話し合う〉「リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう」 知識及び技能教材 ○ 文法の窓3「助詞・助動詞 絵に合う助詞・助動詞を探そう」 ○ 漢字道場7「他教科で学ぶ漢字（2）」
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。 	<p>9 振り返って見つめる 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びの道しるべ ・読み方を学ぼう⑧心情把握 ・コラム「走れメロス」とシラーの「人質」 ・「走れメロス」から広げて読む 太宰治の世界 知識及び技能教材 ○ 漢字を身につけよう⑨ 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 話す・聞く／書く 「情報誌 地域の魅力を振り返って」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、近代文学、知識及び技能教材で構成されている。 	<p>九 表現を味わう 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びナビ 想像・イメージ ○ 詩「豚」 ○ 学びナビ 語り手の位置 ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・みちしるべ 知識及び技能教材 ○ 言葉の小窓3「類義語・対義語・多義語・同音語」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 「連作ショートショートを書く」 知識及び技能教材 ○ 漢字の広場4「同音の漢字 こうプレーにこう奮」 ○ 広がる本の世界9
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。第2学年及び第3学年は、第1単元に古典教材が1編収録されている。 	<p>8 表現を見つめる 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びへの扉 ・学びのカギ 人物像に着目する 知識及び技能教材 ○ 漢字に親しもう5 ○ 文法への扉3「一字違いで大違い」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 書く「描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのカギ 表現の効果を考えて描写する 知識及び技能教材 ○ 言葉3「話し言葉と書き言葉」 ○ 漢字3「送り仮名」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 話す・聞く／書く「国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのカギ これまでの学びを価値づける ○ 詩「鍵」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びへの扉

【国語】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑩単元・教材等の配列
方法	配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数				
		学年	1	2	3	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必須・必修教材からなる「本編」と、参考資料としての「資料編」からなる。 ○ 各単元は、「読むこと」の教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のどちらかの領域の教材及び知識及び技能教材で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材文の後に「てびき」がある。「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、教材の中に「てびき」の項目がある。 ○ 「資料編」は、「読む」「読書案内」「資料」「漢字」で構成されている。 	総単元数	8	8	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	13	13
			書くこと	18	19	18
			読むこと	113	115	118
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部からなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の複数の領域からなる教材と、知識及び技能教材で構成されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」の題材として読書活動に関連させたものがある。 ○ 古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の前後に「読み方を学ぼう」がある。 ○ 「資料編」は、「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料（漢字含む）」で構成されている。 	総単元数	9	9	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	16	19
			書くこと	28	26	18
			読むこと	126	142	141
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必須・必修教材からなる本教材と、補充・参考資料としての付録教材からなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内、複数の領域からなる教材と知識及び技能教材で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の前に「学びナビ」（見通し）を、教材文の後ろに「みちしるべ」（学習のてびき）がある。 ○ 付録教材（言葉の自習室）は、「読書」4作品と資料で構成されている。 	総単元数	9	9	8	
		本教材の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	12	20
			書くこと	13	19	14
			読むこと	124	135	130
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部、語彙ブックからなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と知識及び技能の内、複数の領域で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の終わりに「学習の窓」がある。 ○ 巻末資料（学習を広げる）は、「読む」「話す・聞く」「書く」「漢字」で構成されている。 	総単元数	8	8	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	18	18	18
			書くこと	23	23	17
			読むこと	110	117	110

【国語】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪ 巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方、内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容（第1学年）	ページ数
東書	○ 「文法解説」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法解説」	12
		○ 「トロッコ」等 3編	19
		○ さまざまな古典作品「古事記」等	3
		○ 読書案内「中学生におすすめの本」	4
		○ 「学習の前に」「原稿用紙の使い方・推敲の観点」等	10
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」	13
		○ 「主なデジタルコンテンツ」「デジタルコンテンツ一覧」	折込（5）
		○ 「言葉のカー一覧」	2
三省堂	○ 「文法のまとめ」「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」として全学年に示している。	○ 「文法のまとめ」	13
		○ 読書の広場「小さな図書館」	6
		○ 読書の広場「日本十進分類法」「本の構造」	2
		○ 読書の広場「電車は走る」等 6編	34
		○ 読書の広場「落語の世界」「落語 桃太郎」	6
		○ 読書の広場「日本文学名作集」「小倉百人一首」	10
		○ 社会生活に生かす「著作権と引用」等	16
		○ 「学習用語辞典」	6
		○ 「語彙の広がり」接頭語・接尾語等	4
		○ 「五十音図とローマ字」「日本語と英語の音節」	2
		○ 「一年生で学ぶ漢字字典」「一年生で学ぶ音訓」等	28
		○ 二次元コード参照先コンテンツ一覧	2
		○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込（5）
教出	○ 「言葉と文法（解説編）」「言葉の自習室」「漢字」として全学年に示している。	○ 「言葉（解説）」	12
		○ 「文法（解説）」	13
		○ 「銀のしずく降る降る」等 4編	19
		○ 「伝統芸能へのいざない 落語」	1
		○ 「十二支と月の呼び名」等	6
		○ 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」等	7
		○ 「一年生で学習した漢字」等	28
		○ 「ふるさと」を巡る	2
光村	○ 学びを深める「文法」「漢字」「国語の力試し」「語彙ブック」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法」	15
		○ 「〔漢字練習〕小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 国語の力試し「読む力」「話す力・聞く力」等	5
		○ 語彙ブック「情景を表す言葉」等	8
		○ 「学びのカギ」一覧（「文学的な文章を読むために」等）	6
		○ 発想を広げる「表現テーマ例集」等	8
		○ 資料「幻の魚は生きていた」「坊ちゃん」	14
		○ 「言葉としぐさの伝統芸能」等	4
		○ 漢字「一年生で学習した漢字」等	29
		○ 「学習のための用語一覧」	2
○ ICT活用のヒント	2		

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑫デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの数と扱い

		第3学年					
特徴		二次元コードからつながる内容とその数					
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 58 個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから複数の内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] については、全ての領域において「思考・判断・表現のポイント」につながる二次元コードがある。 ○ A 話すこと・聞くことやB 書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○ C 読むことにおいては、動画や外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。また、「対比と象徴」に着目して読むことにつながる二次元コードがある。 ○ その他として、動画による教科書の編集意図（国語を学ぶ意義）や思考方法（ツール）、探究学習への活用につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	常用漢字一覧 1		
				語彙	広がる言葉 5		
						文や文章	ゲーム 2 解説 2 練習問題 2
						言葉遣い	敬語のまとめ一覧 1
				(2)情報の扱い方	情報と情報の関係	導入動画 1 解説 1 練習問題 1	
		情報の整理	導入動画 1 解説 1 練習問題 1				
		〔思考力、判断力、表現力等〕	A 話すこと・聞くこと		学習の流れ(動画) 2 活動の具体例(テキスト) 3 (動画) 5 思考・判断・表現のポイント 3 言語活動の留意点 2		
			B 書くこと		学習の流れ(動画) 3 活動の具体例(テキスト) 4 思考・判断・表現のポイント 4 言語活動の留意点 3		
			C 読むこと		教材の朗読(動画) 3 解説(動画) 3 (外部) 5 作者(筆者)の言葉(動画) 8 作者の紹介(動画) 5 (外部) 6 思考・判断・表現のポイント 7 対比と象徴に関わる導入(動画) 1、解説1、練習問題1 教材の内容に関わる音声 2 教材の内容に関わる動画 2 教材の内容に関わる外部サイトへのリンク 1 教材のもととなった調査 1 読解の助け 1		
		その他		教科書の編集意図(動画) 1 百人一首一覧 1 古典文法 1 思考方法(ツール) 6 探究学習への活用 2 言語活動の留意点 2 書写との関連 1 ポイント一覧 1 コンテンツ一覧 2			
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 78 個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから複数の内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱いに関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くことやB 書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○ C 読むことにおいては、外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○ その他として、デジタル作品を全 88 作品、外部サイトへのリンクによる図書館検索、外部サイトへのリンクによる読書活動などにつながる二次元コードがある。 	び 技 能 〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	ドリル 19 クイズ 8		
				文や文章	ドリル 2		
				(2)情報の扱い方	情報と情報の関係	情報の信頼性(外部) 1	
					〔思考力、判断力、表現力等〕	A 話すこと・聞くこと	
				B 書くこと		活動の具体例(テキスト) 1	
		C 読むこと		教材の朗読(音声) 4 作品の紹介・解説(外部) 12 作者(筆者)の言葉(動画) 2 作者の紹介(外部) 1 思考・判断・表現のポイント(動画) 6 (図解) 3 作品の他の場面(本文、口語訳) 8			
		その他		作品 88 教科書の使い方(動画) 1 コンテンツ一覧 2 扉コンテンツ一覧 8 ポイント一覧 1 思考スキル(動画) 1 思考ツール(ワークシート) 1 記録カード 3 記録カードの付け方 3 紹介図書一覧 3 図書館検索(外部) 3 3 分類、件名、ジャンル等(外部) 1 本の部分の名称(外部) 1 図書館の利用(外部) 1 読書活動(外部) 3 感想文メモ 1 感想文の書き方 2			

【国語】

		第3学年				
特徴		二次元コードからつながる内容とその数				
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 48個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから1つの内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能]については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] B書くことにおいては、活動の具体例を示す二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] C読むことにおいては、作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○ その他として、選書の仕方、読書活動、図書紹介や動画によるワールドカフェの仕方やジグソー学習の仕方につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	語彙	教材で学ぶ言葉5 (外部) 3	
				文や文章	助詞1 助動詞1	
				言葉遣い	(外部) 4	
		〔思考力、判断力、表現力等〕	B書くこと	(2)情報の扱い方	情報の整理	情報の信頼性の確かめ方1
(3)我が国の伝統文化	伝統的な言語文化			中学校第1学年の内容3		
その他	C読むこと	B書くこと		活動の具体例(テキスト) 3		
		C読むこと		作品の紹介・解説(テキスト) 6 作者(筆者)の言葉(動画) 4 作者の紹介(外部) 1 内容に関わる外部へのリンク 2		
		その他		コンテンツ一覧1 選書の仕方1 読書活動2 図書紹介1 本が貸し出されるまで(動画) 1 古典(外部) 3 ワールドカフェの仕方(動画) 1 ジグソー学習の仕方(動画) 1 表現に役立つ言葉1 学校の生活で気を付けること1		
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 68個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから1つの内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能]については、(1)言葉の特徴や使い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等]については、全ての領域において思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○ A話すこと・聞くことやB書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。また、話すこと・聞くことと書くこととの複合単元における思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○ C読むことにおいては、作者(筆者)のインタビューをテキストでまとめたものや動画につながる二次元コードがある。 ○ その他として、Web上の力試し問題につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	漢字16 漢字の一覧表8	
				語彙	小学校で学んだ語彙1 中学校第1・2学年で学んだ語彙1	
				文や文章	文法ワーク2 練習問題2	
		〔思考力、判断力、表現力等〕	A話すこと・聞くこと	A話すこと・聞くこと		活動の具体例(動画) 6 思考・判断・表現のポイント2 一覧1 表現テーマ例2
				B書くこと		活動(句会)の具体例(動画) 1 思考・判断・表現のポイント2 一覧1 書くことのミニレッスン3
				話すこと・聞くことと書くこととの複合		思考・判断・表現のポイント1 一覧1
				C読むこと		教材の朗読(音声) 5 作者(筆者)の言葉(テキスト・動画) 2 思考・判断・表現のポイント5 一覧2 内容に関わる動画1
		その他		その他		コンテンツ一覧3 言語活動の留意点2 Web上の力試し問題1 学校生活や社会生活に役立つ資料1